

平成29年5月度活動報告

1. 総括

夏の訪れを感じます5月も皆様のお陰さまを持ちまして議員活動に励ませて頂きました。ありがとうございました。今回は年に1度の全議員による「議会報告会」を5月23日にプラザ萬象で開催させて頂き、約80名の市民の方々にご来場頂きました。広報広聴委員会の一員として準備を進めてきましたが、今回は改めて色々な課題が見えた報告会になり次回以降より良い報告会になるように会場を増やす等の工夫をすべきと感じました。

議会報告会でもトピックスとして取り上げました、「新市庁舎建設」については5月中に行政からの説明会が全市的に行われました。行政としては約10億円の国からの財政措置を受けるため本年度9月までに建設地を決めたい意向であり、A案(現所在地)、B案(プラザ萬象地)のメリット・デメリットを比較する形での説明が主でありました。また、現段階ではすべての市有地を建設候補地として排除しないとのことでC案(その他の場所)についても検討対象とのことです。10公民館で行われた市民説明会後のアンケート結果、また市役所・プラザ萬象、市内9公民館の回収箱でのアンケート結果、またホームページでの電子申請でのアンケート結果合わせて388名のアンケート結果が次の通り出ております。**A案：現所在地：221名(59%)、B案：プラザ萬象105名(28%)、**

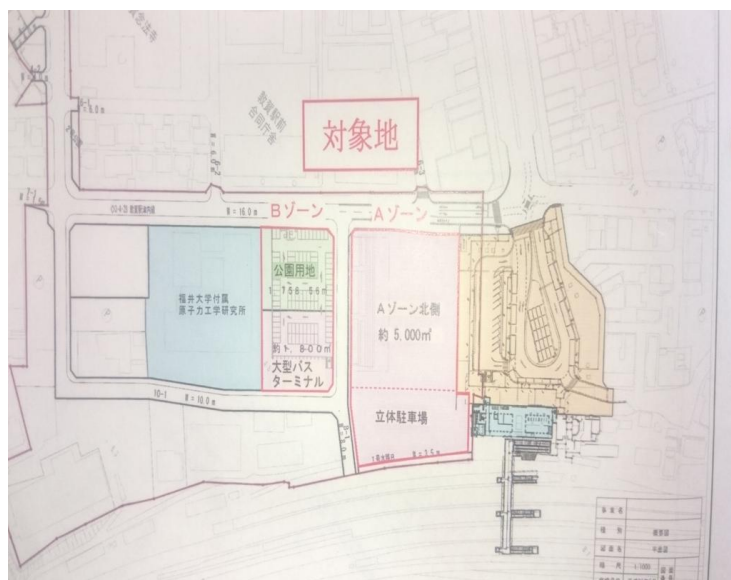
C案：A案、B案以外の新たな案：25名(7%)、わからない：21名(6%)、回答なし：16名

※候補地を選ぶに当たっての重視項目としては利便性、安全性、発展性などが主な項目という結果
今後、6月に市民約3,000名へのサンプリングアンケートを実施してより市民の意見を情報収集し、7月から「市庁舎建設候補地選定委員会」が立ち上がり、候補地選定協議が始まる予定であります。今後の状況をしっかりと注視して参ります。

2. 新庁舎建設地に対する私の意見

私自身の新市庁舎建設地に関する意見としましては、今回のアンケートでも約7名の方から声が上がっている「**駅西前のAゾーン**」に建設するのが利便性・発展性からも最適と考えております。現在、新幹線整備課で駅西前Aゾーンについては民間企業から事業性の意見を聞く等のサウンディング型市場調査を実施しており、調査結果として

「民間企業として事業展開の見込みがあるが、民間単独では厳しく、何らかの形での行政の支援がほしい」との見解であります。そのような見解もあり、私の意見では駅西前Aゾーンに民間と共同で高層の建物を建て、上層部をホテルやマンションにして中層部以下に併設する形で市役所、商工会議所等の公共団体等が入れると良いと考えます。また屋上には開放的な空間を作りビアホールや市民の憩いの場所にするのが良いと考えます。試算はできておりませんが、民間との共同出資という形になり建設費も抑えられると考えます。この駅西前Aゾーン案を行政としてしっかり調査・コスト試算しC案として場所選定の選択肢に入れるべきと考えます。



以上